

平成23年3月期第2四半期

会社説明資料

平成22年12月



株式会社 大谷工業

OTANI KOGYO CO., LTD.

(JASDAQ・5939)

# 会社のプロフィール

商号	株式会社大谷工業 OTANI KOGYO CO.,LTD.
本社	〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目22番17号
代表者	代表取締役社長 芝崎安宏
設立	昭和22年6月30日
資本金	6億5,520万円
売上高	2,422百万円(23年3月期第2四半期)
従業員	179名(22年9月30日現在)

# 会社の沿革

昭和21年2月	当社の前身、大谷重工業株式会社富山支社小杉製作所として創業
昭和22年6月	株式会社大谷工業小杉製作所として設立
昭和29年5月	社名を大谷工業株式会社と改称し、小杉研砥工業株式会社を吸収合併
昭和45年10月	本社を東京都品川区西五反田7丁目22番17号TOCビル内に移転
昭和60年7月	鹿沼工場 頭付きスタッドのJIS規格認可
昭和63年3月	鹿沼工場 六角ボルト・六角ナットのJIS規格認可
昭和63年10月	富山工場 溶融亜鉛めっき加工技術JIS規格認可
昭和63年11月	日本証券業協会へ店頭登録
平成元年7月	本社を東京都品川区北品川5丁目4番14号TOC北品川ビルに移転
平成元年9月	櫻井鐵工株式会社を合併し、社名を大谷櫻井鐵工株式会社と改称
平成8年9月	本社を東京都品川区西五反田7丁目22番17号TOCビル内に移転
平成8年10月	社名を株式会社大谷工業と改称
平成11年6月	鹿沼工場 ISO9001認証取得
平成11年9月	富山工場 ISO9001認証取得
平成16年4月	環境関連製品販売を開始
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場

(注) 平成22年4月ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所（JASDAQ市場）に上場となっています。

# 事業内容

- ・配電・通信線用架線金物、CATV・防災無線用金物、鋏螺の製造・販売
- ・送電用・無線用鉄塔、屋外鉄構、架台、フェンスの設計・製造・販売
- ・スタッドの製造・販売・施工
- ・溶融亜鉛めっき加工



平成23年3月期第2四半期

決算概要



株式会社 大谷工業

OTANI KOGYO CO., LTD.

# 平成23年3月期第2四半期の総括

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、穏やかな回復に向かっていたものの急激な円高進行や株安、また政府の経済政策が一部終了したこと等から減速状況にあります。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めた結果当第2四半期累計期間の売上高は2,422百万円と前年同四半期比97百万円(△3.9%)の減少となりました。

利益面につきましては、売上総利益は544百万円と前年同四半期比20百万円(△3.6%)の減少、営業利益は132百万円と前年同四半期比26百万円(△16.5%)の減少、経常利益は152百万円と前年同四半期比13百万円(△8.3%)の減少となりました。

四半期純利益は77百万円と前年同四半期比33百万円(△30.4%)の減少となりました。

事業分野別の詳細は品目別売上高のページをご参照ください。

# 損益計算書(非連結)

(単位:百万円)

	23年3月期第2四半期 (累計期間)	22年3月期第2四半期 (累計期間)	前期比	備考
売上高	2,422	2,519	-3.9%	
売上原価	1,877	1,954	-3.9%	
一般管理費	412	406	1.5%	
営業利益	132	158	-16.5%	鋼材価格上昇による粗利益率の低下
営業外収益	27	21	30.9%	
営業外費用	7	13	-43.9%	借入金返済による支払利息の減少
経常利益	152	166	-8.3%	
特別利益	—	1	—	
特別損失	8	2	268.8%	資産除去債務会計基準適用のため
第2四半期(累計)純利益	77	111	-30.4%	

# 貸借対照表(非連結)

(単位：百万円)

	23年3月期第2四半期末	前事業年度末	増減	備考
流動資産	2,594	2,593	0	借入金返済の現金及び預金142百万円の減少 126百万円の在庫の増加
固定資産	1,250	1,302	-51	
資産合計	3,845	3,896	-51	

流動負債	1,903	2,016	-113	短期借入金250百万円返済 仕入債務161百万増加
固定負債	595	580	15	
負債合計	2,499	2,596	-97	

資本金	655	655	0	
資本剰余金	221	221	0	
利益剰余金	477	421	55	四半期純利益77百万円 剰余金配当21百万円
純資産合計	1,345	1,299	46	

# キャッシュ・フロー計算書(非連結)

(単位：百万円)	23年3月期第2四半期 (累計期間)	22年3月期第2四半期 (累計期間)	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	183	106	76	税引前四半期純利益143百万
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 41	28	△ 69	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 283	△ 34	△ 248	配当金支払21百万円 借入金の返済250百万円
現金及び現金同等物の 増加額	△ 142	100	△ 242	
現金及び現金同等物の 期首残高	422	299	122	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	280	399	△ 119	

# 品目別売上高

(単位：百万円)

セグメント	23年3月期第2四半期 (累計期間)		22年3月期第2四半期 (累計期間)		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
架線金物	1,471	60.8%	1,339	53.2%	132	9.9
鉄塔・鉄構	459	19.0%	545	21.7%	△ 85	△ 15.7
スタッド	465	19.2%	606	24.0%	△ 141	△ 23.3
その他	24	1.0%	27	1.1%	△ 2	△ 8.3
合計	2,422	100.0%	2,519	100.0%	△ 97	

架線金物	自治体の光ファイバーインフラ設備工事の増加
鉄塔・鉄構	鉄塔の整備網の一巡、新規物件及立替工事の減少
スタッド	公共事業・民間共に依然と回復の兆がしなく、工事量は縮小傾向
その他	

平成23年3月期第2四半期

業績予想



株式会社 大谷工業

OTANI KOGYO CO., LTD.

# 平成22年3月期 業績予想(非連結)

(単位：百万円)

	23年3月期予想	22年3月期実績	増減
売上高	5,200	4,970	4.6%
経常利益	285	308	-7.7%
当期純利益	180	126	42.8%
EPS (円)	20円46銭	14円33銭	42.8%
ROE (%)	-	10.1	-

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

# 経営方針

## ・会社の経営の基本方針

当社は昭和21年の創業以来、豊富な知識・高度な技術で鉄に生命の息吹を与え「豊かな社会を築きあげる」ことを理念としております。本邦において基幹インフラ(電力・通信業等)の一翼を担っているとの矜持を忘れず、固有の技術と最新テクノロジーの融和をはかり「安心・安全・高品質」な製品をお届けする「社会に継続していく意義のある企業」として貢献し続けたいと念願しております。

## ・目標とする経営指標

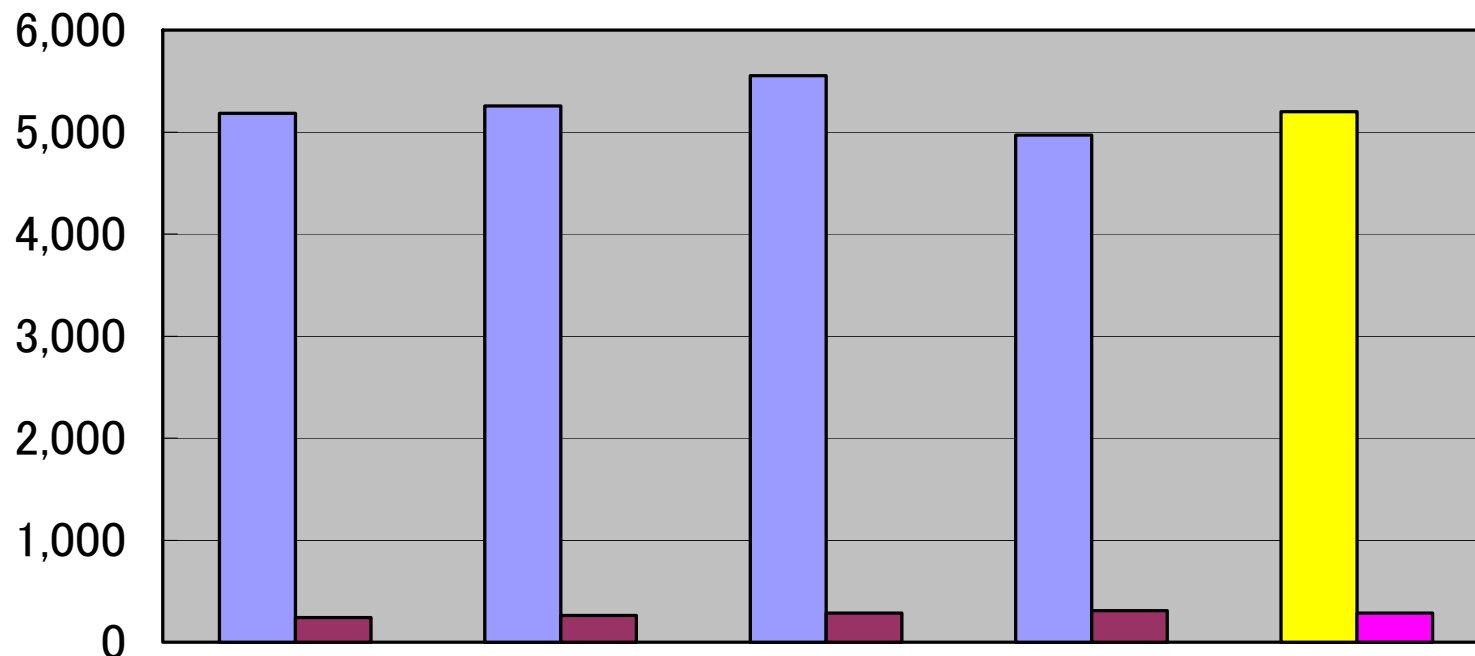
当社は、每期、安定的な利益を継続的に確保するとともに、株主利益の重視と経営の効率化の視点から、ROA(総資本利益率)並びにROE(株主資本利益率)の向上に努力してまいります。

## ・中長期的な会社の経営戦略

既存の架線金物・鉄塔に次ぐ製品を開発し、架線金物業界において専門性・独自性を発揮するリーディングカンパニーを目指します。

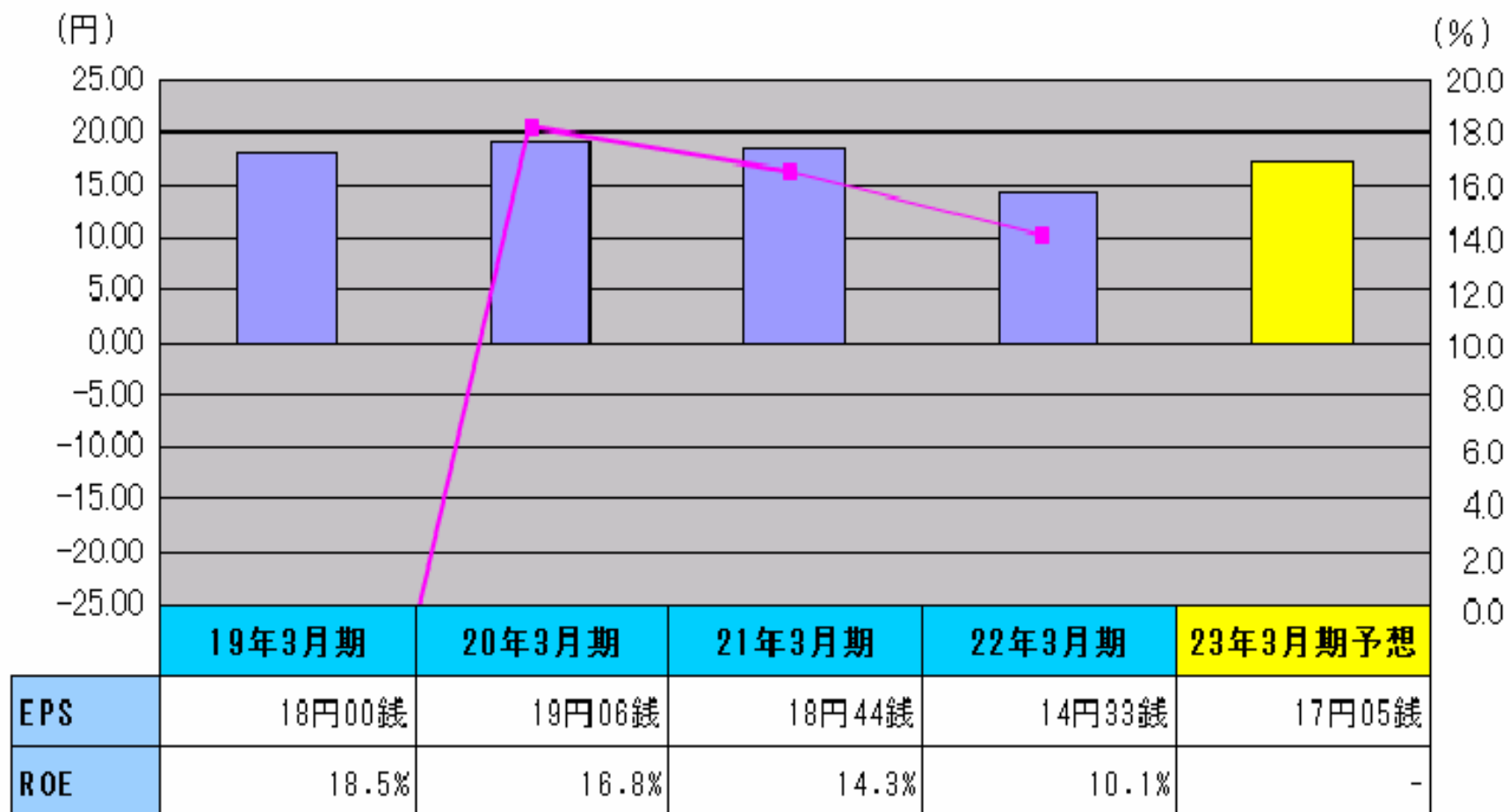
# 売上高・経常利益の推移(非連結)

(単位:百万円)



	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期予想
売上高	5,184	5,257	5,551	4,970	5,200
経常利益	242	263	286	308	285

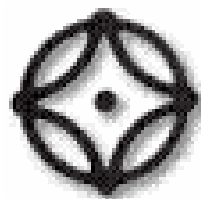
# EPS・ROEの推移(非連結)



EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

# 本資料に関するお問い合わせ



株式会社 大谷工業

総務チーム

TEL : (03) 3494-3731

E-mail: [somu@otanikogyo.com](mailto:somu@otanikogyo.com)